

2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2

八 13  
4450  
2

再版  
教訓乳母草紙

山東菴京山作  
一陽齊同豐國画

東陽書賣

芝三島街角

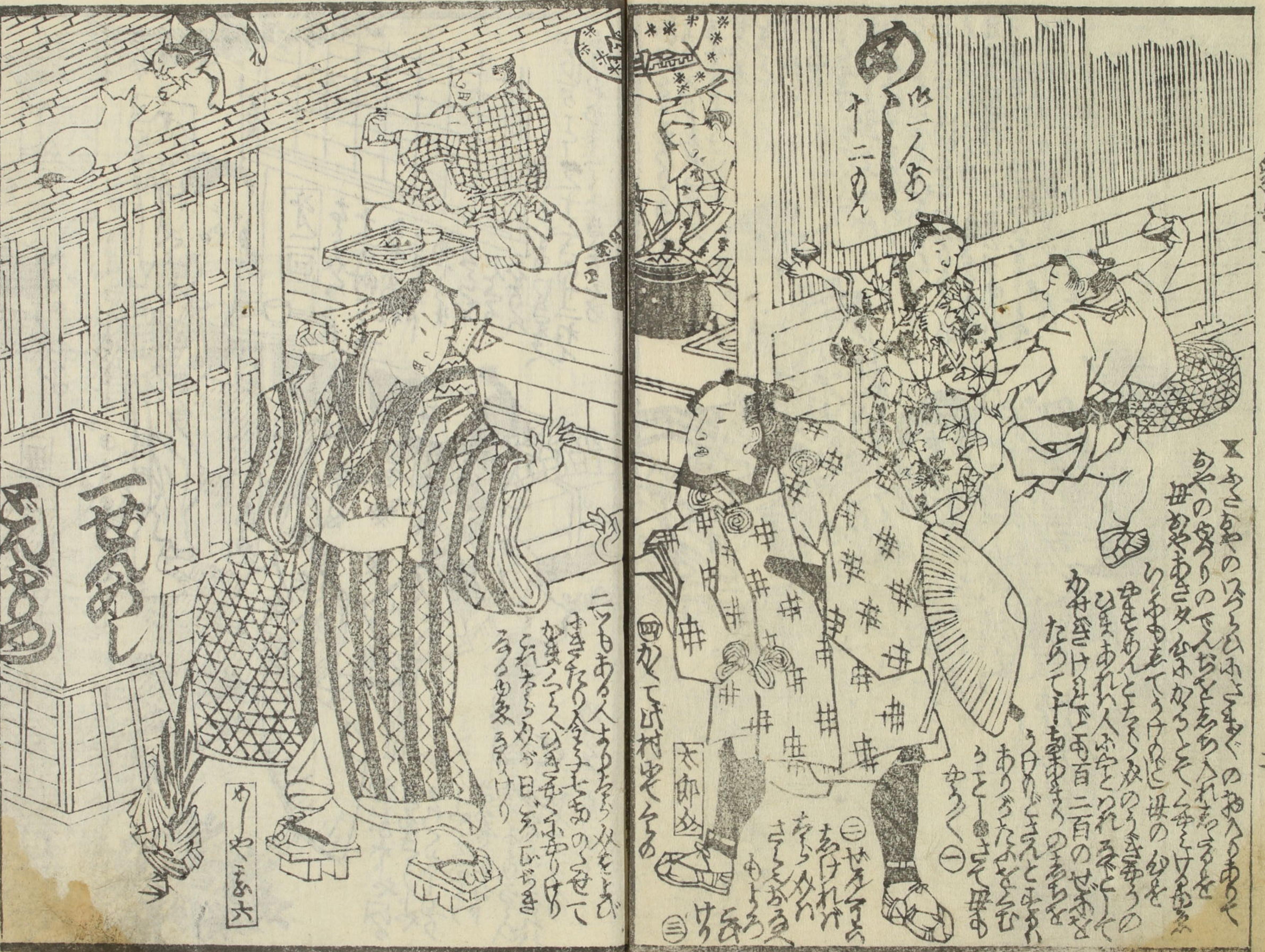
喜鶴堂發行



卷之三

今ふむくをまぐら  
そひ影をかくも  
あくとく登りをも  
が母の産せられ  
地めの内へくえ  
きよゆまくえ  
孫どももあうめ  
のゆきとなぐさき  
よろととえてて  
たあととて  
たすくとて  
すくともの  
くらえとゆる  
かくとくとく  
きくもあらひく  
のはめせひとく  
十二のトト  
よも  
をもの  
くもを  
さる方  
みぬを公と  
つあると  
つあると







卷二

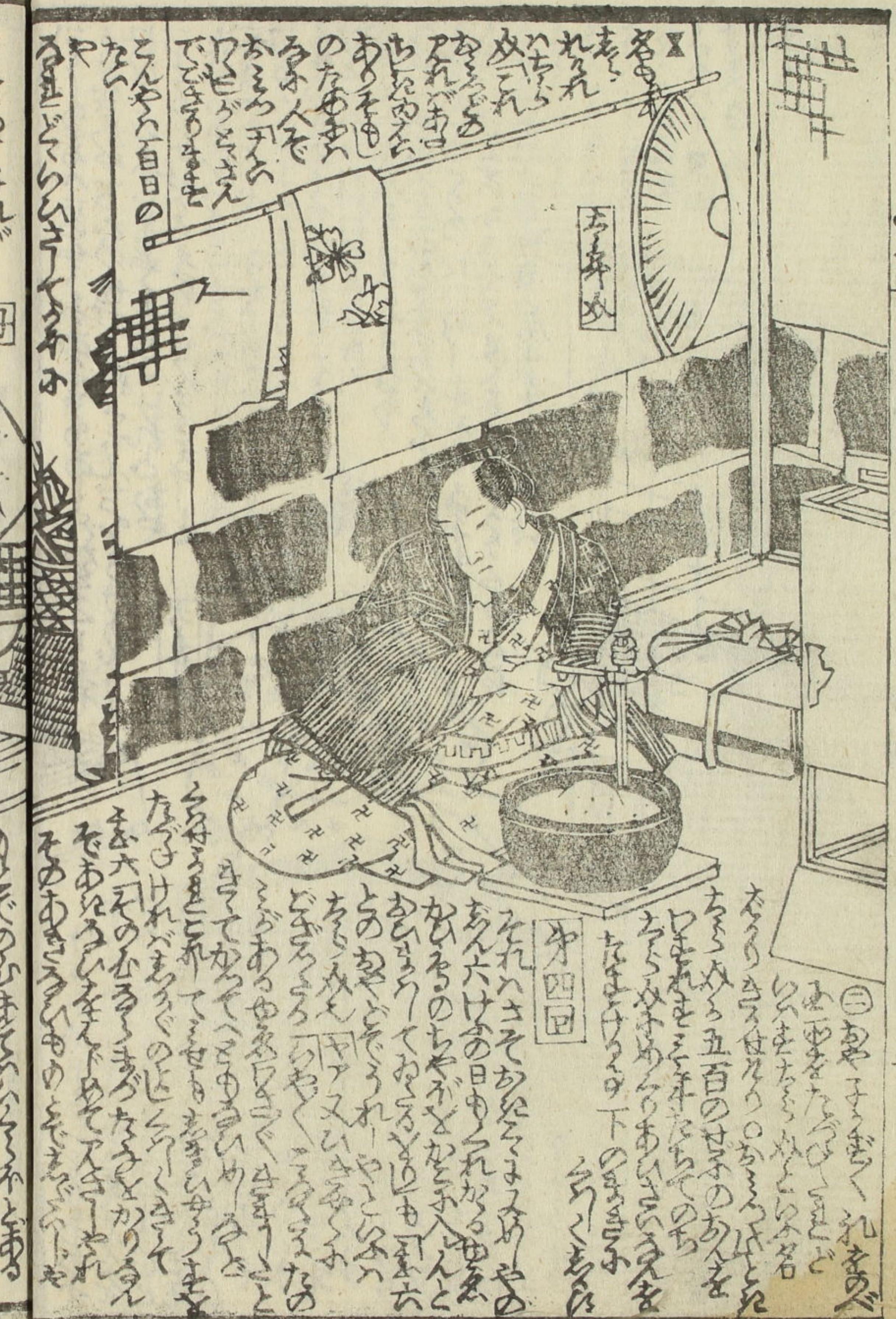
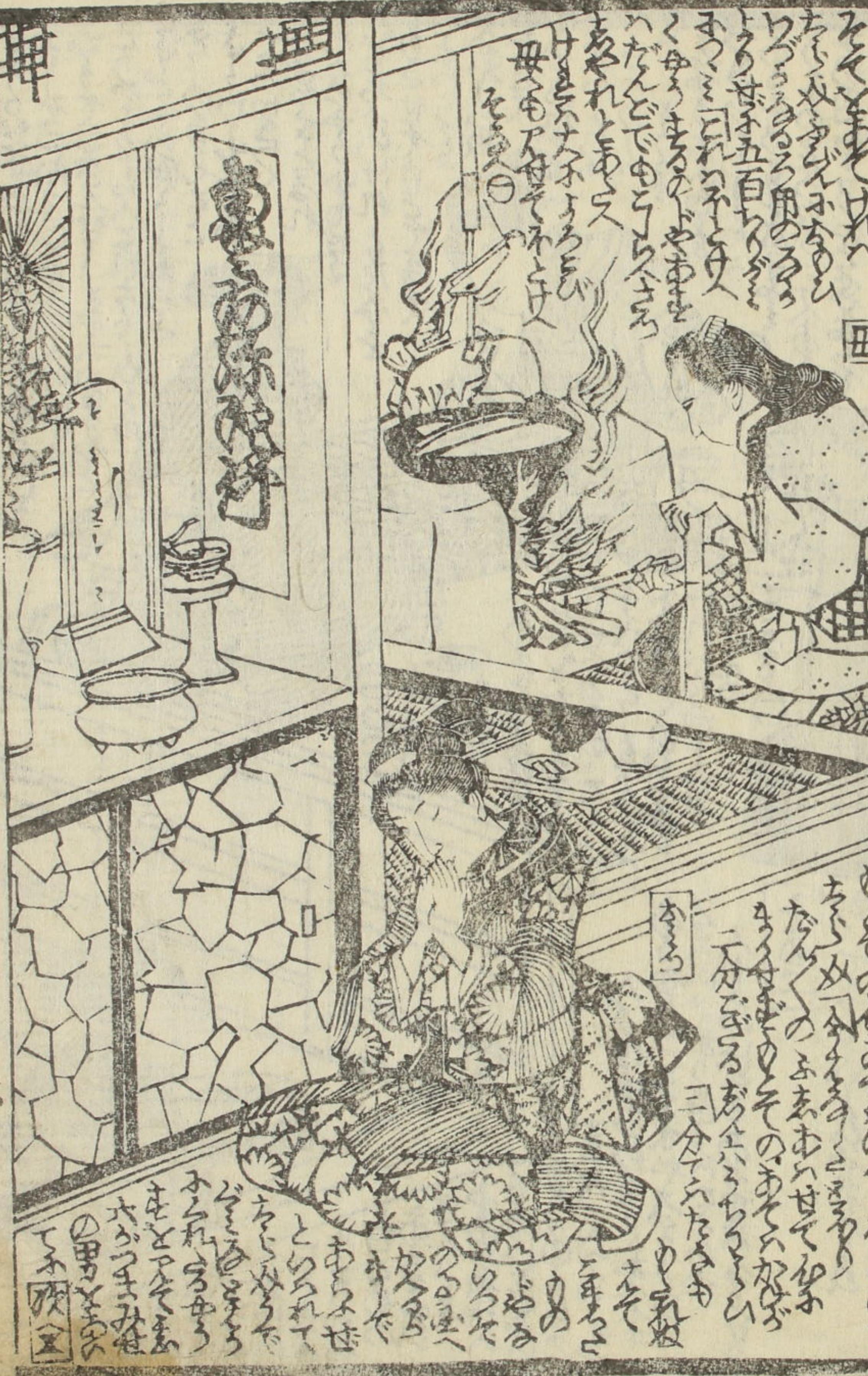
エレベーのまゝのをとよみの  
まもくあるりとへぢきと  
見ゆるを尋ねてひきの  
タゞさうりてらあどんとす  
こを立りでまつゝと  
がゆめかうがんたもれとす  
ちうる百萬本のちくすりと  
六りくわどかせとともゆきうと  
ゆのくじへそくたとそも  
をこめゆふるりむと一せん  
くもむへを尋ねづくる  
ゆゑゆ

えくき  
ゆゑきり

A black and white woodblock print illustration. In the center, a woman with her hair in an elaborate bun is seated, wearing a patterned kimono. She is holding a brush and a small palette, focused on painting on a large, light-colored circular object that looks like a shield or a large plate. To her left, a candle in a rectangular holder sits on a stand. The background is filled with a repeating circular motif. On the far right, there is a vertical column of Japanese text.

① ひまつて立りどよ  
あらひとあらひとあら  
さうだんうす  
（もく）  
てとあめ  
まざるをとおと  
上人とも母  
さきとお内を  
うじせん  
その日は子や  
まこと日ひれ  
えぐれの木りん  
えぐれをまう  
川とよきあらくち  
ゆゑをまう  
けふ五十あまりの  
西十六七の暮年  
わざあるかねもとく  
わざあるかねもとく  
わざあるかねもとく  
わざあるかねもとく  
わざあるかねもとく





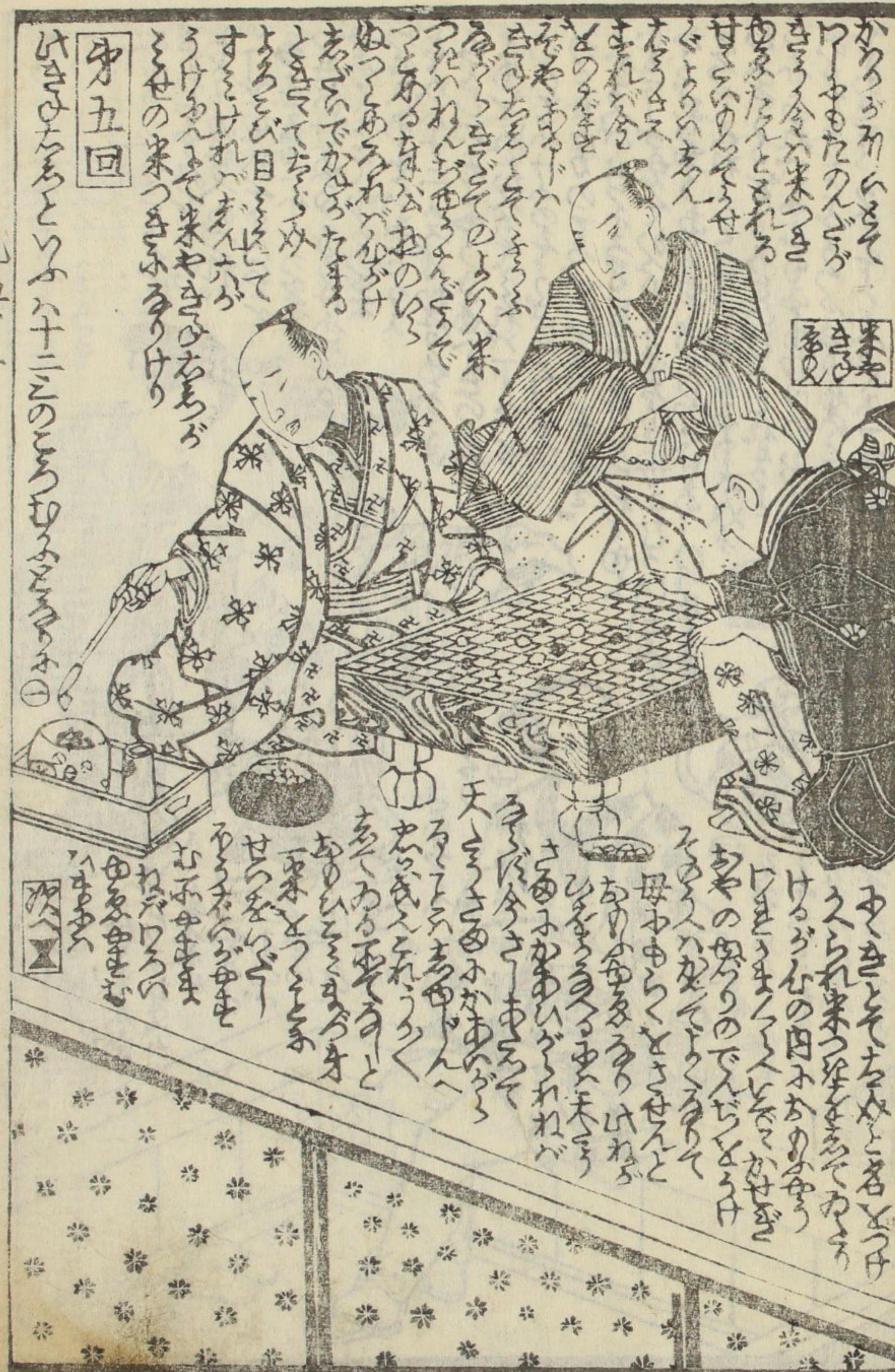
九母

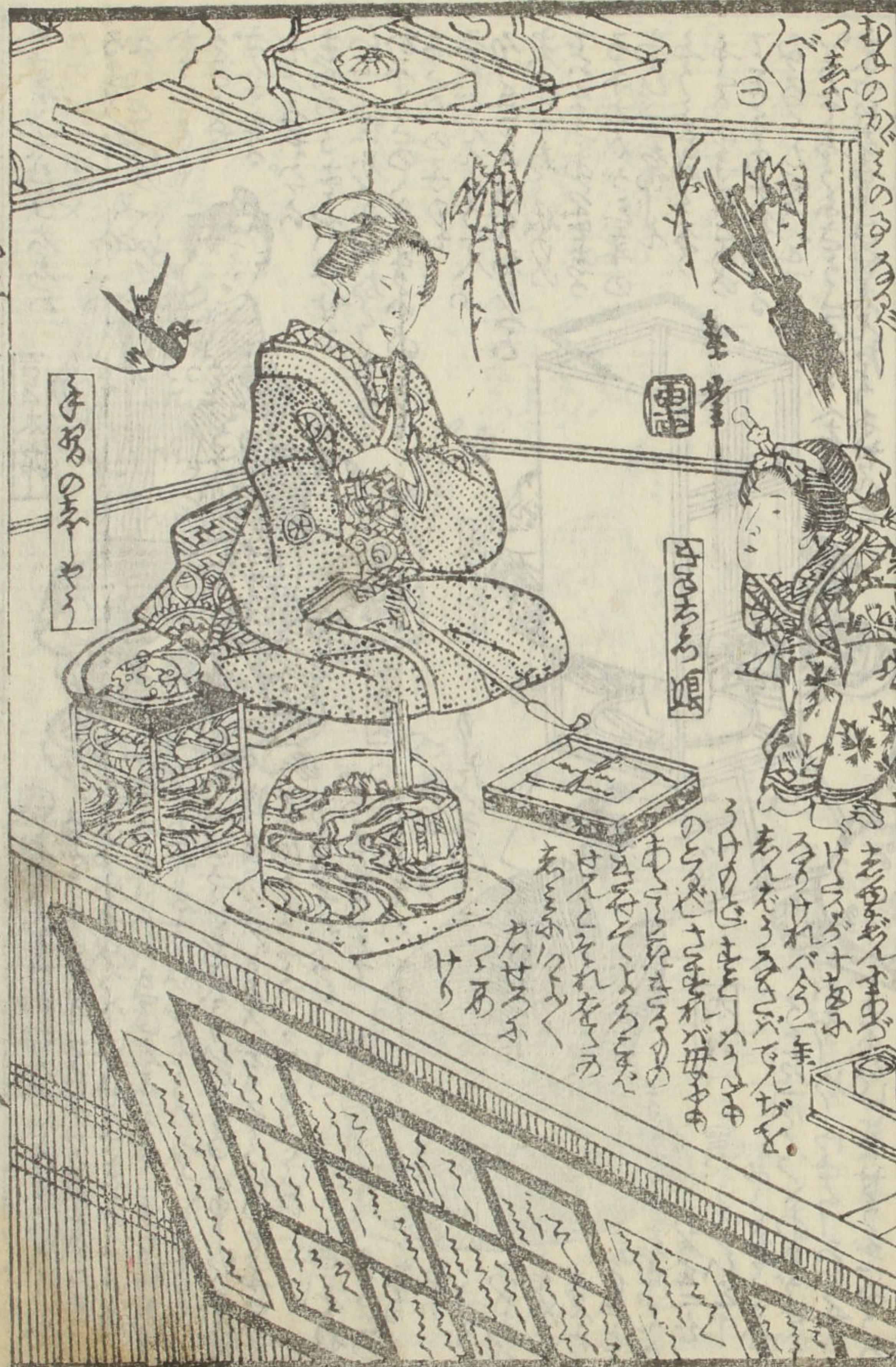
六

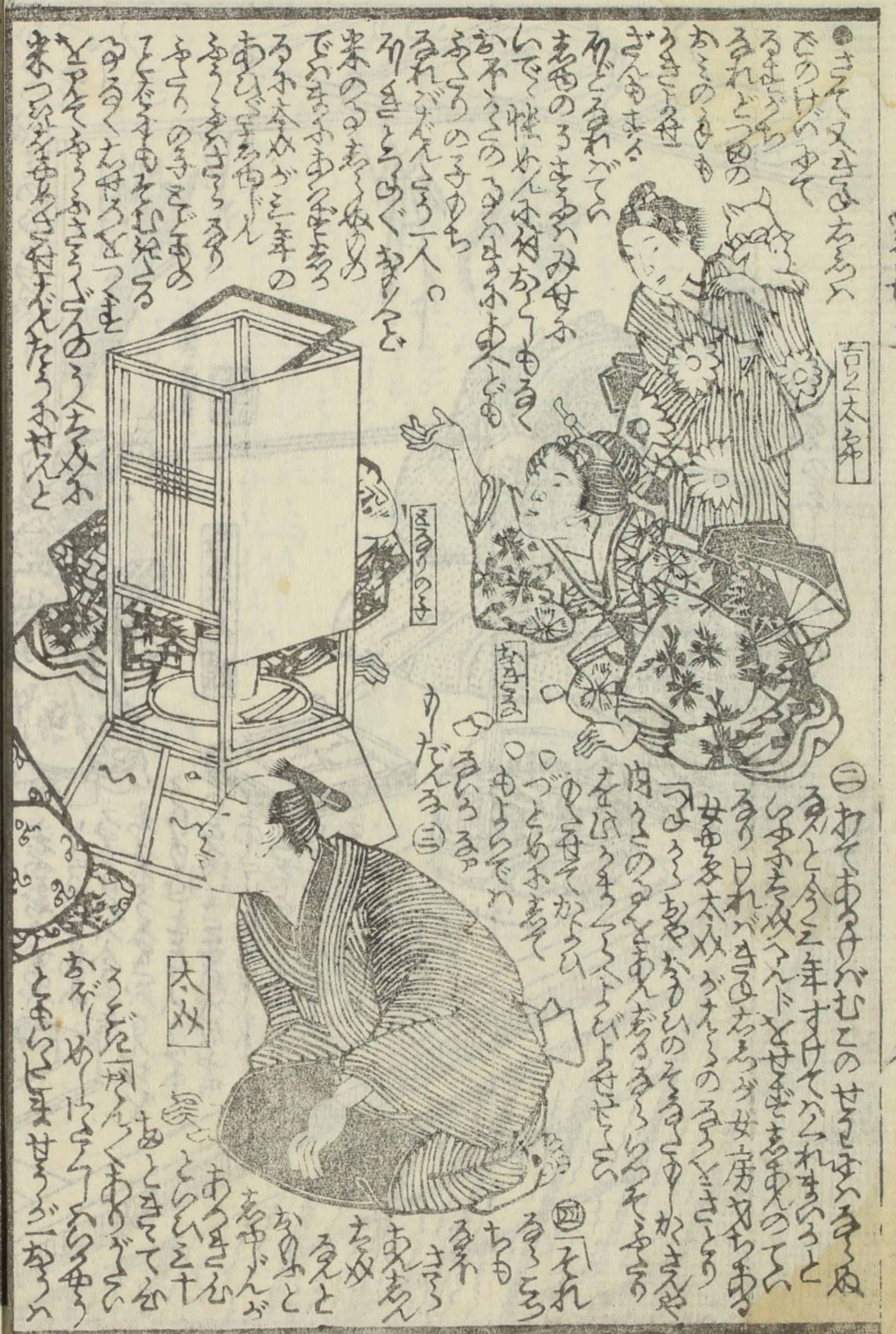
卷之三

五

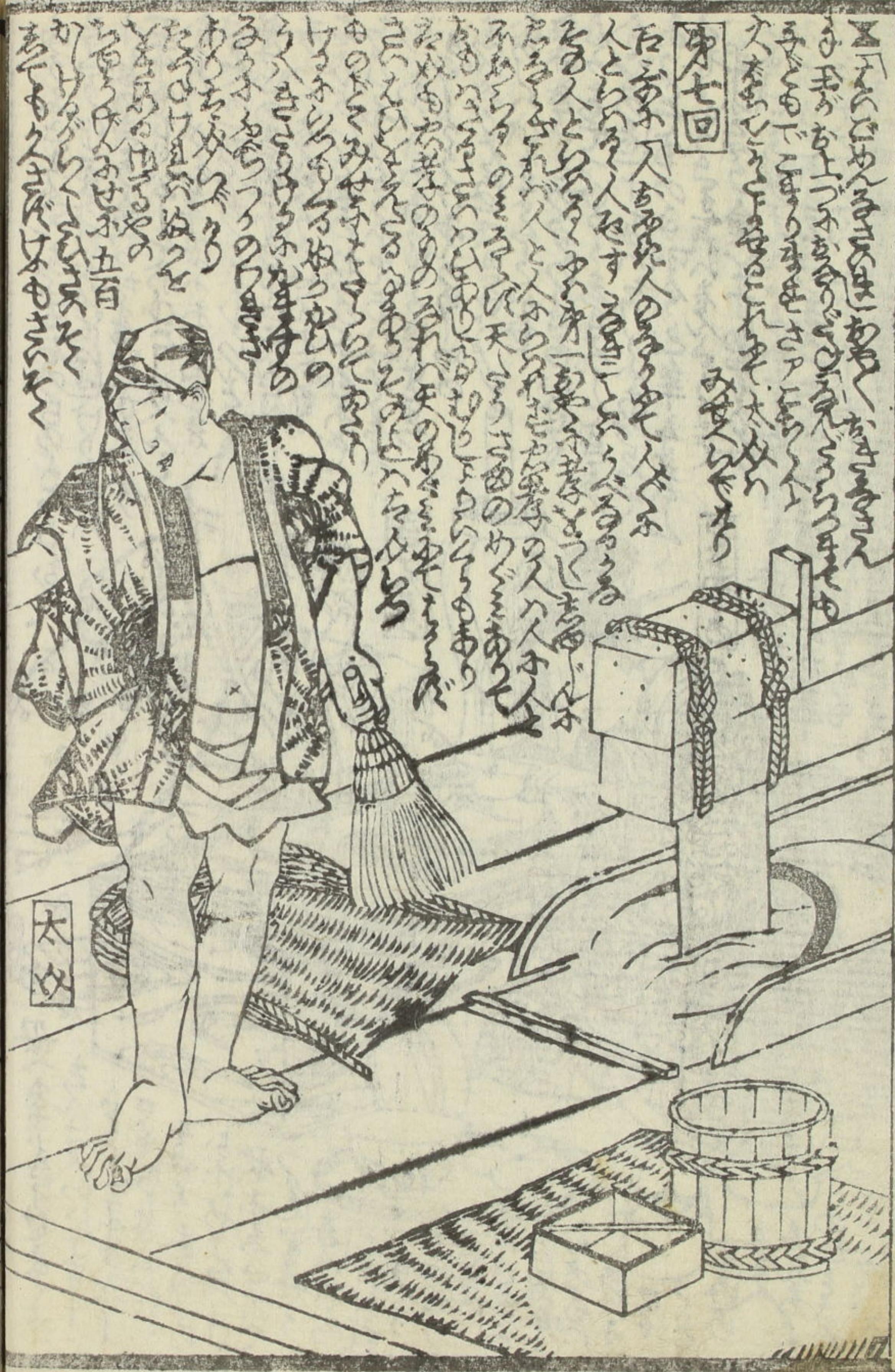
卷之三





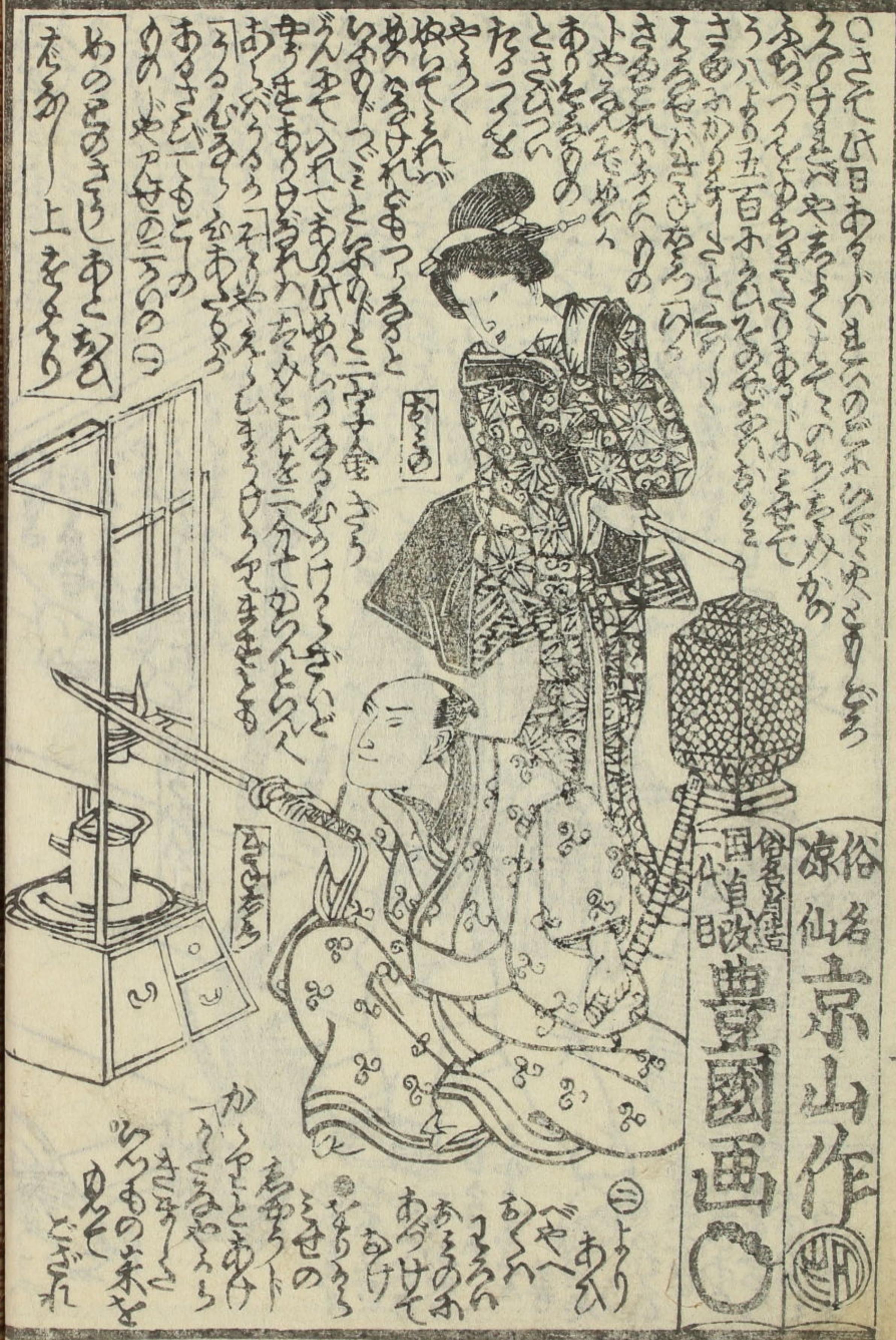


宋氏二



教訓乳母草紙

山東庵  
京山作  
香蝶樓  
豈圓画  
二編下三卷



喜

京山作  
豊岡画  
訓教乳母草紙  
再鑄

地本錦繪問屋

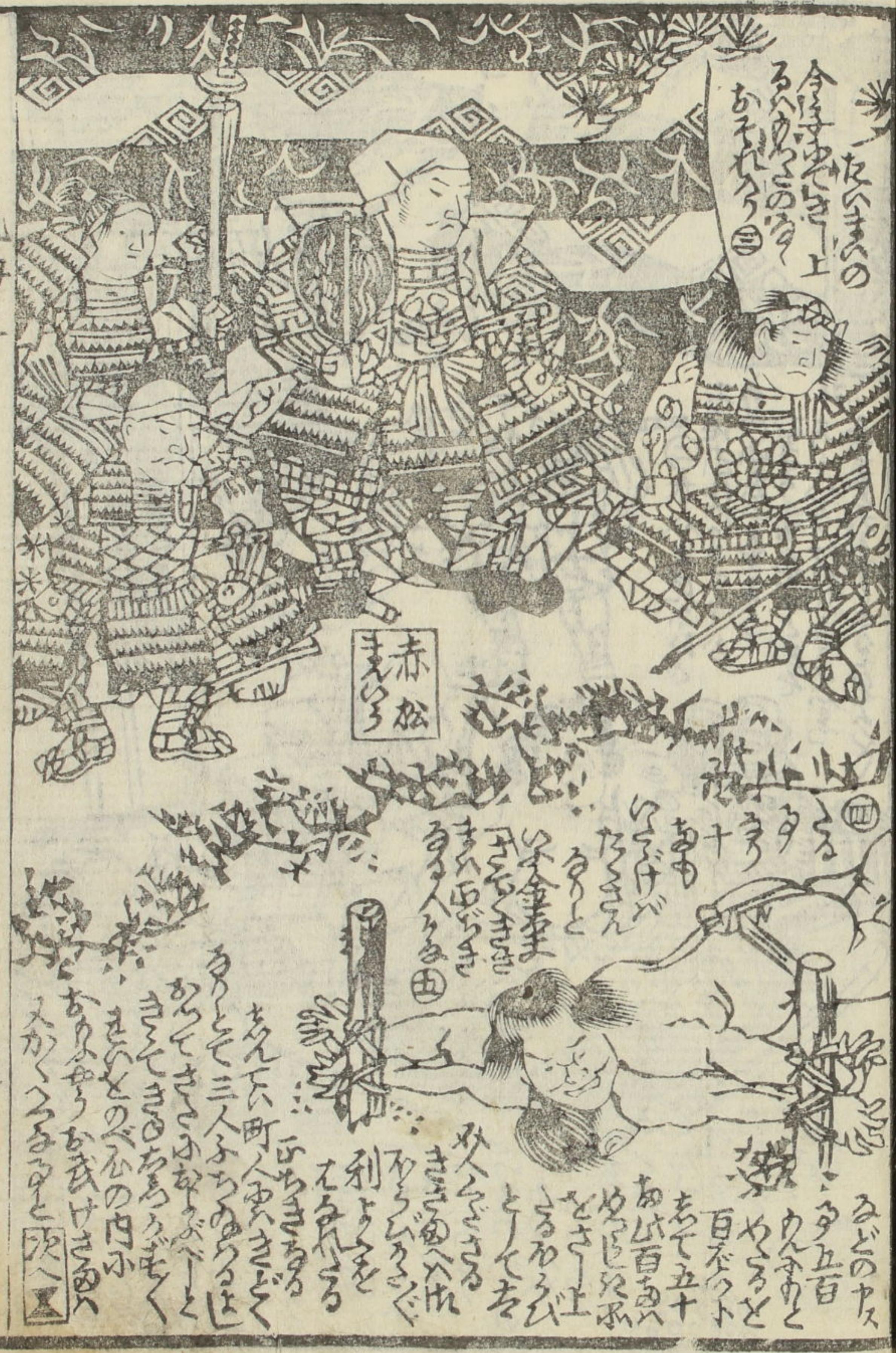
江戸芝神明前  
佐野屋喜無衛板





今日中やるやうへ「あかね  
をえひとくそりておれまはう  
させへよもくと立さうたり

その一





古



九日四

かを高ひ  
きもを高  
やとくう  
つまのをこの  
やあ太父  
やあうナ  
とうウ

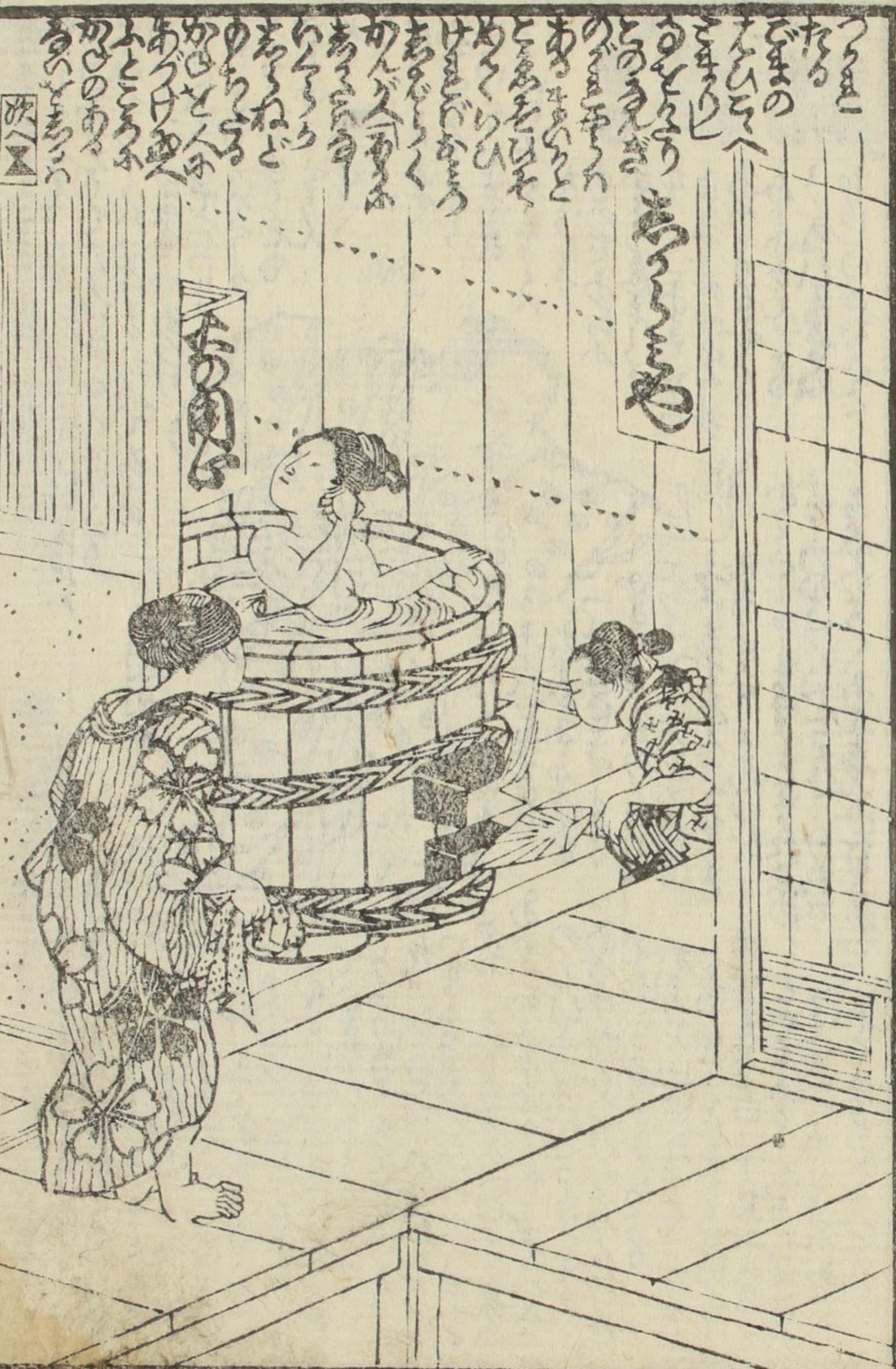
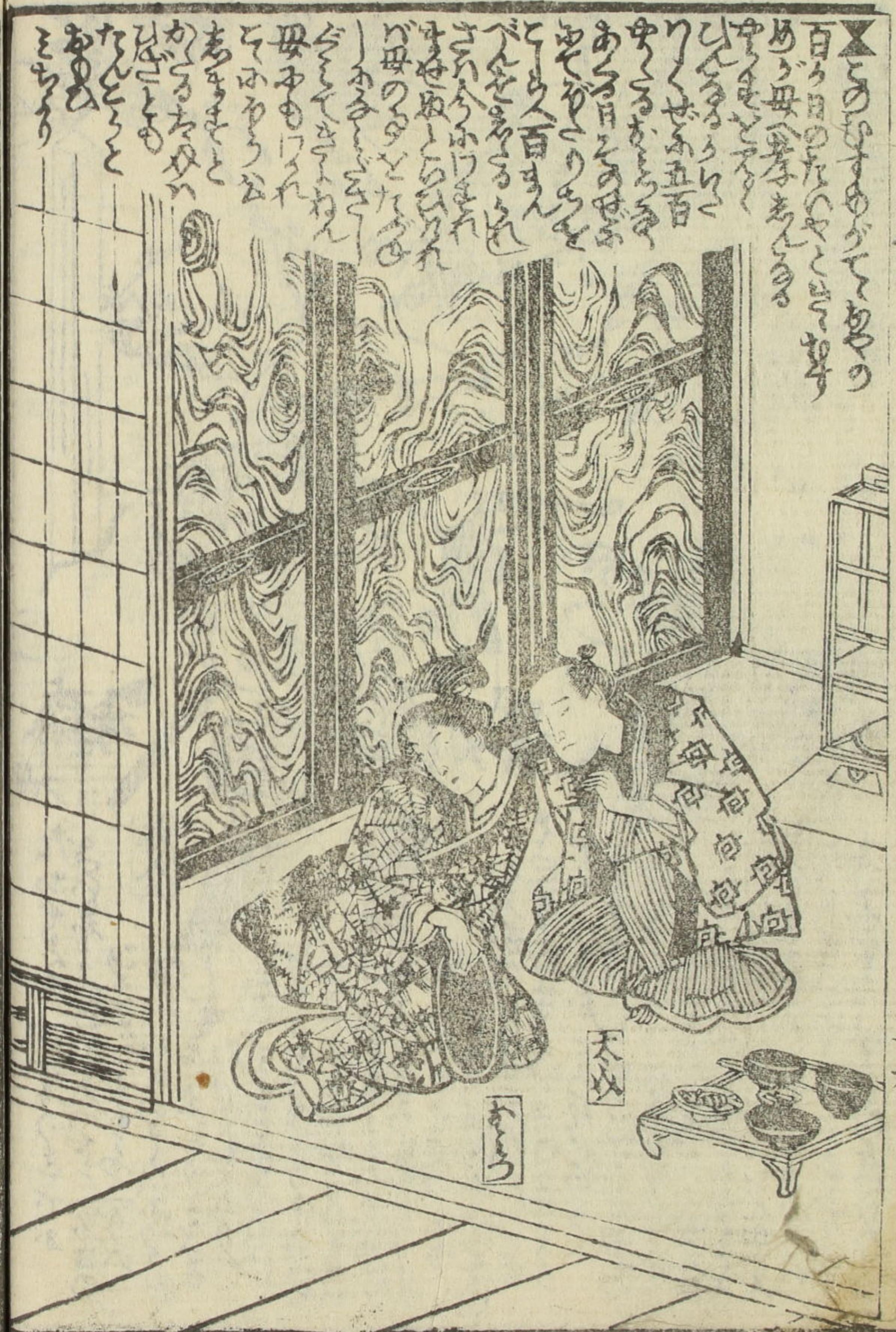
ちあらばへ三十あ  
ねうかひのう八十  
あそべてもうもぐす  
日くらとをもくぬえあそ  
みてひたまうさあふがを  
まゆりとさうくわ  
まゆりとさうくわ  
かめふ考あんあ  
ちせきまもみがつ死  
まゆりとだふよろ  
らひのまうともじらしく  
あまえあまく旱まきと  
せまうる左みツ三干あとまじ  
ざると尺てまうふえあんま  
あからう身がよきふとと  
れぐるゑうりその利つけ  
れと十あ事けられよりと  
ゆのうをゆくゆりあくよも  
うをもうへいんのうゑ  
ゆのうをあくびのうをう  
でれへ立ぐのあうちる  
きめあたまけれがらやつ

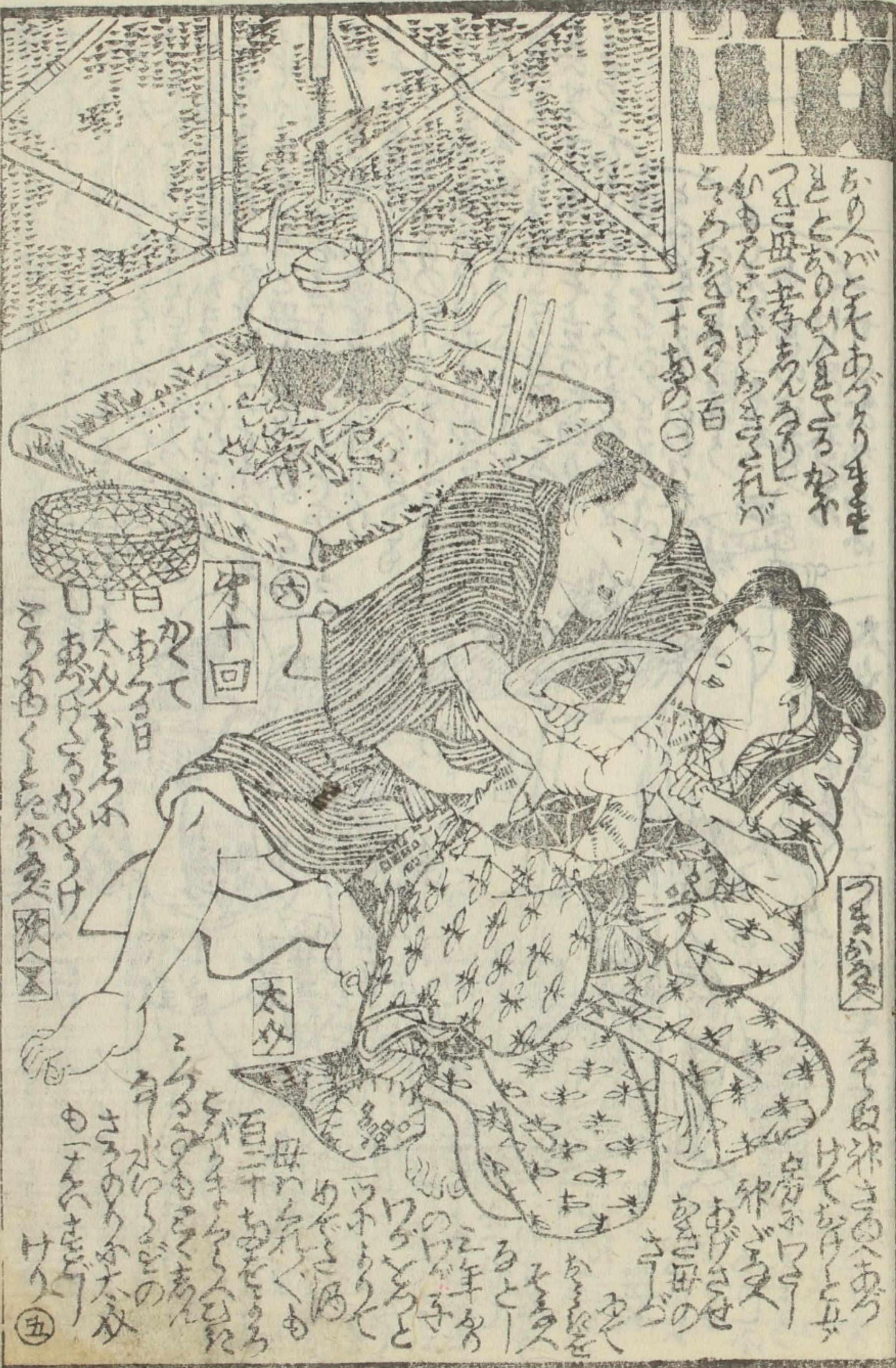


良をくみ  
まもと基の身  
わゆ、一ノ木の身  
ふストモニ  
月をもうちのむ  
めうき男のからふ  
あをひくとも  
せどつよみあひ  
りきはまきる金十三疋  
某あらび二袋百升三  
せんりづのあれをも  
ゆも一袋用ひてく  
を玉のごと

廿十回  
かくこちあひて日太奴あすかゆぢく  
さくだんをもれいふかひだまし  
たるをとどあよひあき  
母子アシせてとうそとせ  
たんこうきそとくわると  
ひめと母あらへゆる  
あらをこわしてくまくらへり  
きりやのとひをかむあひえ  
がありやうじゆうやねりやう公  
じゆうせうもあうれいよひあ  
あれあうれいかゆる前をすとす  
きての百二十あとひ天をとせぬ





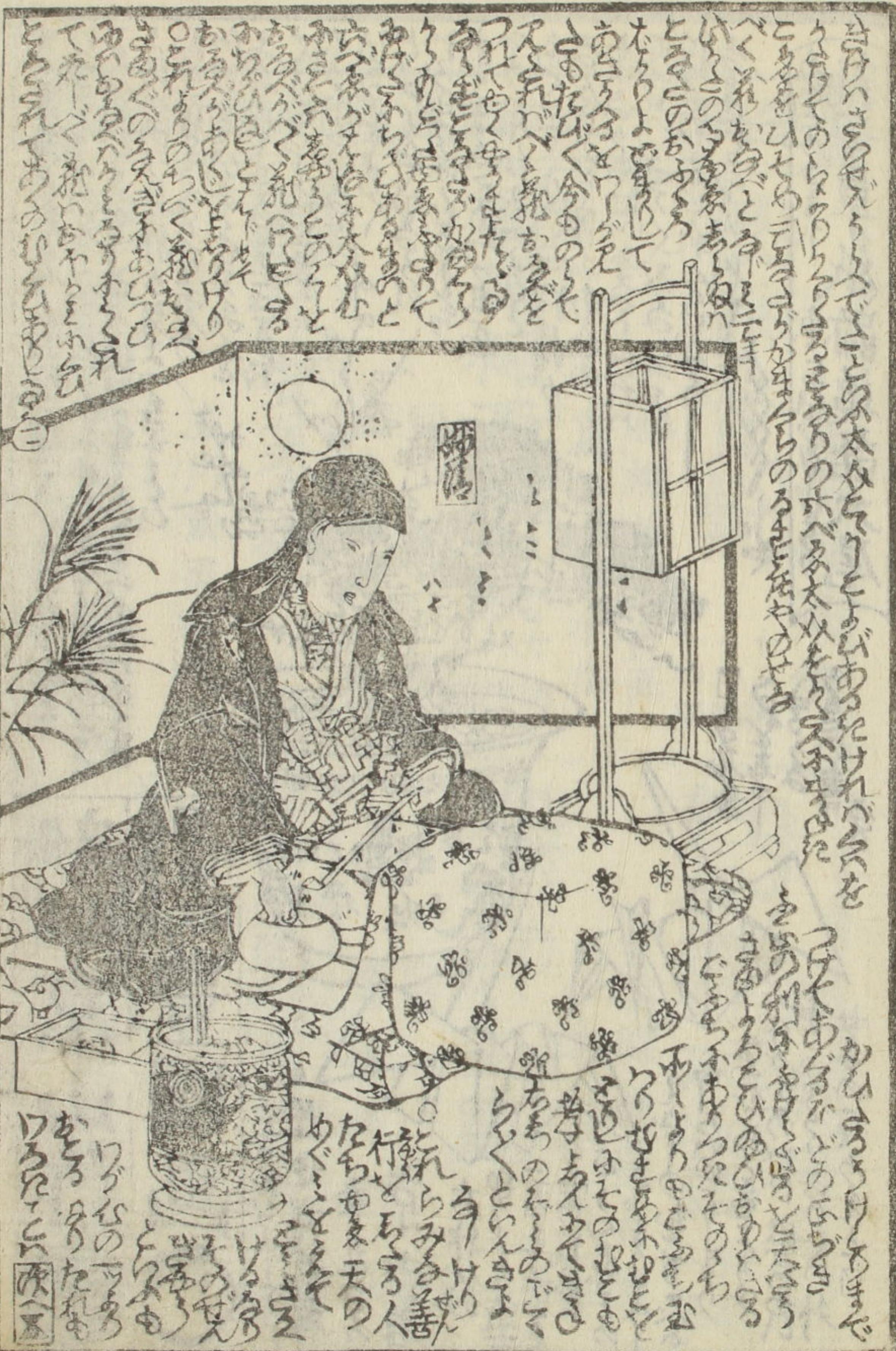




卷之三

卷五

卷之二



安政六年己未新春新錦目錄

地本繪草紙團扇問屋	芝神明前三嶋町角	花兄弟陸奥名所	樂亭西馬作
佐野屋喜兵衛板	同	五編	初編
	立川齋園鄉風		
地本繪草紙團扇問屋	山東庵京山作	娘庭訓金鶴	梅蝶樓國貞画
佐野屋喜兵衛板	同	四編	二編
	立川齋園鄉風		
地本繪草紙團扇問屋	爲永春水作	花兄弟陸奥名所	梅蝶樓國貞画
佐野屋喜兵衛板	同	五編	三編
	立川齋園鄉風		
地本繪草紙團扇問屋	山東庵京山作	娘庭訓金鶴	梅蝶樓國貞画
佐野屋喜兵衛板	同	四編	二編
	立川齋園鄉風		
地本繪草紙團扇問屋	爲永春水作	花兄弟陸奧名所	梅蝶樓國貞画
佐野屋喜兵衛板	同	五編	三編
	立川齋園鄉風		
地本繪草紙團扇問屋	山東庵京山作	娘庭訓金鶴	梅蝶樓國貞画
佐野屋喜兵衛板	同	四編	二編
	立川齋園鄉風		
地本繪草紙團扇問屋	山東庵京山作	花兄弟陸奧名所	梅蝶樓國貞画
佐野屋喜兵衛板	同	五編	三編
	立川齋園鄉風		



俗名  
京仙山作  
二代目  
豊國画



芝名造  
古今考  
歴世女装考  
全五十三



紅藍吏部

一代紀聞

# 根源實紫

十二編より十五編迄 仙裏作

追々賣出一中り

國貞

画

十一編 桜手兒 松ヶ崎の邸にて女中小島等に嘲弄され、情ふ城せん木せんと  
して實父壽祖を留め、式部野洲子・鳥兒と共に北野詣の折柄大藏種村小  
通、名次到木小豪童六呂赦免を遇ひ近江へ歸る途中、亦自ら知ら親不<sup>シ</sup>會條を一株  
都て花麗き物語。十二編 豪童式部の危難を救ふ種村本心を失ひ大式部と合歡  
可らず。末此事は、實父壽祖の奇病不苦。終ふ  
死を至る等の悲哀。十三編 鳥兒式部を妹の讐として害と加へんとす  
大貳三位の誕生桜手兒嫉妬の惡念宣孝不殺と宣孝を重んじ落命  
又北越ふ走きる惟規の事を細よ記。少將の君の貞操と説く。十四編以下  
の巻略へ別小記十八

芝神明前

喜鶴堂主人敬白

13

4450

2